平成３０年度年間指導計画「世界史Ａ」

教科	地理歴史	単位数	2	履修年次	1年園芸科 1年普通科	教科書「高等学校　改訂版　世界史Ａ」（第一学習社） 副読本「ダイアローグ世界史図表」（第一学習社） ワークノート「改訂版　世界史Ａノート」（第一学習社）

学習の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
評価のポイント	①定期考査　②ファイルの提出　③レポート、宿題などの提出物 ④授業への取組状況　⑤出席状況等により総合的に評価

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4	第１編　世界史へのいざない 第１章　自然環境と歴史 第２章　日本列島のなかの世界の歴史 第２編　世界の一体化と日本 第１章　ユーラシアの諸文明 １節　東アジア	・地理とのつながりで歴史に対する関心を高め，自然環境と人類の活動が相互に作用しあっていることについて考察する。	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題
			・鉄砲伝来や石見銀山の事例から，地図や年表に表す活動を通して，日本の東アジアの特質に対する関心を高め，中国の皇帝政治や北方民族との関係，東アジアの国際秩序について理解する。			○	○	
			・東アジアの特質に対する関心を高め，中国の皇帝政治や北方民族との関係，東アジアの国際秩序について理解する。	○			○	
			・漢字・儒教・仏教・道教などに関する様々な資料を活用して東アジアの特質を理解するとともに，日本の文化とも関連付けて多角的に考察し，その結果を適切に表現する。歴史が世界の歴史とつながっていることを理解する。		○	○		
	5	２節　南アジア ３節　東南アジア	・南アジアの多様性について関心を高め，南アジアの宗教に関する様々な資料を活用して，各宗教が及ぼした影響について考察し，その結果を適切に表現する。	○	○	○		授業態度発問評価 提出課題 定期考査
			・東南アジアにおける多様な社会・文化の形成について把握し，基本的知識を身に付ける。				○	
		４節　西アジア ５節　ヨーロッパ	・西アジアで古くから文明が栄えた背景に関心を高め，オリエント・イラン文明について，日本への影響を考察し，その結果を適切に表現する。	○	○			
			・西アジアに生まれたイスラームが広大な地域に急速に拡大し，独自の世界を形成したことを理解し，その知識を身に付ける。				○	
			・ギリシア・ローマ文明がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握し，その知識を身に付ける。				○	
			・キリスト教がヨーロッパ文明の基調となり今日まで受け継がれていることを，思想・文学・日常の慣行や儀礼などの諸資料を活用して考察し，その結果を適切に表現する。		○	○		
		６節　アフリカ ７節　アメリカ	・アフリカに古くから独自の文明や王国が存在したことに関心を高め，大河の流域ごとにアフリカの諸王国の特徴を理解する。	○	○		○	
			・アメリカの文明の特色を，ユーラシアの諸文明と比較して考察し，その結果を適切に表現する。			○		

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の視点	a	b	c	d	評価方法
1	6	8節　ユーラシアの海の交流 9節　ユーラシアの陸の交流	・ムスリム商人，中国商人の活躍についての資料を活用し，海のネットワークの概要と交流の具体的様相を把握し，基本的知識を身に付ける。 ・遊牧国家の特徴やモンゴルによるユーラシアの一体化について理解し，その知識を身に付ける。			○	○ ○	授業態度 発問評価 提出課題
		第２章　結びつく世界と近世の日本 ①～⑥	・14 世紀から 18 世紀にかけての陸と海の動向について関心を高め，アジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解する。 ・イスラーム世界の成熟について，オスマン帝国の宗教政策の視点から考察し，その結果を適切に表現している。 ・明・清帝国と朝鮮・日本との関係，ムガル帝国・サファヴィー朝・オスマン帝国の動向に関する資料を活用し，基本的知識を身に付ける。	○	○	○	○ ○	
		第２章　結びつく世界と近世の日本 ⑦～⑨	・ルネサンスと宗教改革について関心を高め，その歴史的背景について考察し，その結果を適切に表現する。 ・「大航海時代」のヨーロッパとアメリカ大陸との接触・交流に関する資料を活用し，アメリカ大陸の先住民社会の変貌について理解する。	○	○	○	○	
	7	第２章　結びつく世界と近世の日本 ⑩～⑬	・16 世紀から 18 世紀にかけてのヨーロッパ諸国の動向と国際関係の推移に関する資料を活用し，その知識を身に付ける。 ・世界の一体化とそれに伴うアフリカ・アメリカの変容について関心を高め，多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 ・主権国家体制の成立と大西洋貿易の展開によるヨーロッパ社会の変容について理解し，その知識を身に付ける。	○	○	○	○ ○	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		第３章　ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ①～⑥	・イギリス産業革命の背景を世界史的視野からとらえ，産業革命の結果，資本主義経済が確立したことを理解する。 ・産業革命が果たした歴史的意義について，関連する資料を活用して考察し，その結果を適切に表現する。 ・アメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立について関心を高め，それらの背景と影響について多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 ・アメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意義について考察し，関連する資料を活用して基本的知識を身に付ける。 ・アメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながらおこったことを理解する。	○	○ ○	○	○ ○	
2	9	第３章　ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ⑦～⑫	・ウィーン体制下での自由主義・国民主義の運動について関心を高め，その歴史的意義を考察し，その結果を適切に表現する。 ・国民主義の高まりがドイツ・イタリアでの国民国家形成の原動力となったことを理解し，国民国家形成までの過程を把握する。 ・ロシアの対外進出の背景を理解し，その動きがもたらした影響について多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 ・西部開拓と先住民・アフリカ系の人々への抑圧，移民の流入についての資料を活用し，アメリカの国民形成の独自性について理解する。	○	○ ○	○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 提出課題
	10	第４章　アジア諸国の変貌と近代の日本	・ヨーロッパを中心とするアジアでの国際分業体制の形成について，近代世界システム論の視点から意欲的に追究し，19 世紀の世界の一体化とその特質を考察し，その結果を適切に表現する。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容，その中での日本の対応に関する資料を活用し，アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌について考察し，その結果を適切に表現する。 ・日本の明治維新とその後の近代化の動きがアジア諸国に与えた影響について考察し，その知識を身に付ける。	○	○ ○ ○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
	11	第３編　地球社会と日本 第１章　帝国主義の時代	・帝国主義列強の世界政策によって世界がどのように変容したか，意欲的に追究する。 ・帝国主義列強の植民地支配について，民族・国境など現在まで残る問題と関連付けて考察し，理解する。 ・帝国主義列強の植民地支配，それに対する反帝国主義運動の高まりや近代化の動きについての資料を活用し，帝国主義列強の侵略にさらされたアジア・アフリカの変貌と諸民族の民族的覚醒について考察し，その結果を適切に表現する。	○	○ ○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	11	第２章　急変する人類社会	・19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての社会の急激な変化についての資料を活用し，現代の社会と関連付けながら考察し，その結果を適切に表現する。 ・19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化を意欲的に追究し，現代社会の原型が成立したことを理解する。	○	○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題
2	12	第３章　世界戦争と平和 ①～⑥	・第一次世界大戦の原因について，これまでに学習したことと関連付けて，意欲的に追究する。 ・第一次世界大戦についての資料を活用し，第一次世界大戦の性格と第一次世界大戦がもたらした世界の変化について考察し，理解する。 ・ロシア革命とソ連の成立について，政治的・思想的影響について考察し，その結果を適切に表現する。 ・国際連盟やヴェルサイユ・ワシントン体制の理念と現実，アジア諸国の民族運動について理解し，国際社会の枠組みの変化について把握する。 ・第一次世界大戦後の世界の変化について，第二次世界大戦へとつながった問題点を含め，多角的に考察し，その結果を適切に表現する。	○	○	○	○ ○	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
2	12	第３章　世界戦争と平和 ⑦～⑪	・世界恐慌からファシズムの台頭，第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら，意欲的に追究する。 ・世界恐慌の原因と影響，各国の恐慌対策，ファシズム台頭の背景と経過についての資料を活用し，第二次世界大戦の原因を考察し，その結果を適切に表現する。 ・第二次世界大戦の性格と，その過程で生じた米ソ冷戦の芽や原爆使用の意味について理解し，その知識を身に付ける。	○	○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
3	1	第４章　三つの世界と日本の動向	・米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する関心を高め，1970 年頃までの世界の政治・経済の動向について考察し，その結果を適切に表現する。 ・米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立についての資料を活用し，1970 年頃までの世界の政治・経済の動向について理解する。 ・アジア・アフリカの民族独立運動，第三世界の台頭とその国際的役割，アジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解し，その知識を身に付ける。	○	○	○	○ ○	授業態度 発問評価 提出課題
3	2	第５章　地球社会への歩みと課題	・1970 年代以降の地球社会形成に向けての諸地域世界の情勢に関する資料を活用し，その知識を身に付ける。 ・東欧諸国の民主化とソ連の社会主義体制の崩壊について関心を高め，その歴史的意味を多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 ・新聞やインターネットなどから国際社会の新しい動きや問題点についての情報を収集し，有用な情報を選択して活用する。 ・現代社会の問題点を把握し，その解決のために日本が果たすべき役割について考察し，その結果を適切に表現する。	○	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
3	3	第６章　持続可能な社会への展望	・現代社会の特質や課題について自ら主題を設定し，主体的な探究を通して，歴史的視野から認識を深め，持続可能な社会の実現について展望する。 ・現代社会の特質や課題に関する資料を収集・選択･活用するとともに，探究した成果を論述したり，討論したりする。	○	○ ○	○		授業態度 発問評価 提出課題

平成３０年度　年間指導計画

世界史Ｂ	単位数	４単位	対象学年	３年　普通科

学習目標	1.　世界史に関する興味・関心を高め，意欲的に学習する態度を育成する。 2.　世界史の大きな枠組みと流れを，我が国および諸地域世界の歴史と関連付けながら理解させる。
使用教科書・副教材等	教科書：「高校世界史Ｂ　改訂版」山川出版社 補助教材：「ダイアローグ世界史図表　新版初訂」第一学習社

学期	月	指導内容	配当時数	進度
1学期	4	世界史への扉 第１部　文明と地域世界の形成 序章　文明のはじまり 第１章　西アジア・地中海世界の形成 1　オリエント文明の形成 2　ギリシア世界とオリエント	１２	
	5	3　ローマ帝国と地中海世界 第２章　南アジア世界の形成 1　古代インド文明の形成 2　ヒンドゥー国家と社会の展開 3　東南アジア世界の形成	１６	中間考査
	6	第３章　東アジア世界・内陸アジア世界 1　中華文明の形成 2　秦漢帝国の形成 3　三国・南北朝時代と遊牧国家の動向 4　隋唐帝国と東アジア諸民族の活動 第２部　ユーラシア諸地域の交流と再編 第４章　イスラーム世界の形成 1　イスラーム国家の成立 2　軍人政権の時代 3　アフリカ・南アジアのイスラーム化 4　イスラームの文化	１８	期末考査
	7	第５章　ヨーロッパ世界の形成と変動 1　ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界 2　西ヨーロッパ世界の成立 3　ヨーロッパ世界世界の変動 第６章　内陸アジア世界と諸地域世界 1　契丹・女真と宋の構想 2　モンゴル帝国の興亡 3　ユーラシア諸地域の交流と再編	１０	

学期	月	指導内容	配当時数	進度
2学期	9	第３部　諸地域世界の結合と変容 第７章　アジア諸地域世界の繁栄と成熟 １　明清帝国の繁栄 ２　東アジア諸国の発展 ３　東南アジアの大航海時代 ４　イスラーム諸国家の繁栄 第８章　ヨーロッパの拡大と大西洋世界 １　大航海時代　２　ルネサンス ３　宗教改革　４　近代主権国家の成立	１６	
	10	５　東方の大国 ６　ヨーロッパ人の進出とアジア・アフリカ 第９章　ヨーロッパ・アメリカ諸国の発展 １　産業革命 ２　アメリカ合衆国の成立 ３　フランス革命とナポレオン ４　国民国家の建設－１ ５　国民国家の建設－２ ６　ヨーロッパの文化	１６	中間考査
	11	第10章　世界市場の形成とアジア諸国 １　ヨーロッパ諸国のアジア進出 ２　西アジアの変動 ３　南アジア・東南アジアの変動 ４　東アジアの変動 第11章　世界の分割 １　世界を支配する国々 ２　アジアの民族主義と国家建設 ３　世界の一体化	１６	
	12	第４部　地球世界の形成 第12章　二つの世界大戦と世界 １　第一次世界大戦とロシア革命 ２　ヴェルサイユ体制 ３　アジアの独立運動と革命 ４　アメリカ合衆国の繁栄	１２	期末考査
3学期	1	５　世界恐慌とファシズム ６　第二次世界大戦 第13章　戦後世界の形成と変容 １　冷戦の展開 ２　平和共存の模索 ３　多極化の進展 ４　冷戦の終結と社会主義国家の変貌 ５　グローバル化する社会	１６	学年末考査
	2	終章　21世紀の課題	8	

平成30年度　日本史B　年間指導計画

単位数　4単位

学科・学年　普通科　2学年

学習目標
1. 日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。
2. 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
3. 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける

使用教科書　高校日本史　改訂版（山川出版社）

使用副読本　最新日本史図表　初訂版（第一学習社

授業担当者　.

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
1学期	4月	第1章 文化と国家の形成	1. 日本の旧石器文化	・人間がまだ文字を知らない時代の歴史は、地中に埋まっている遺跡から考古学の成果によってわかることの意味を考えさせる。 ・石器時代には、平等な社会だったが、農耕がはじまると貧富の差があらわれ、権力者が出現してくることの意味をとらえさせる。 ・畿内にある巨大な古墳がつくられた理由と、古墳が地方に広まっていったことについて、大和政権と関連付けて調べさせる。
			2. 縄文時代の社会と文化	
			3. 弥生時代の社会と文化	
			4. 小国の分立から倭国の形成へ	
			5. 大和政権の形成	
			6. 倭の五王と大和政権の勢力伸長	
			7. 氏姓制度と群集墳の出現	
	5月	第2章 古代国家の確立	1. 飛鳥時代の政治と文化	・飛鳥・奈良に古代の都が成立した意味を考えさせる。 ・古代国家が中国など東アジア地域との関係のなかで成立したことをとらえさせる。 ・古代国家の政治・経済・文化の特徴をとらえさせる。 ・古代の都と地方の関係を調べさせる。 ・古代国家の税制の特徴をとらえさせる。 ・鎮守国家仏教 の特徴をとらえさせる。 ・律令社会の変質過程をとらえさせる。 ・藤原氏が摂政関白として権力をもつようになる過程を理解させる。
			2. 古代国家の形成	
			3. 律令の成立と白鳳文化	
			4. 平城京と律令政治	
			5. 奈良時代の社会と政治	
			6. 国家仏教と天平文化	
			7. 平安初期の政治と文化	
			8. 摂関政治の確立	
			9. 国風文化の成立	
	6月	第3章 中世社会の成立	1. 中世社会の土地制度	・荘園公領制が成立していく過程を理解させる。 ・武士がしだいに権力を獲得していく過程を理解させる。 ・御家人制度を基盤とする鎌倉政権の意義をとらえさせる。 ・農工業の発達と流通の発展の関係をとらえさせる。 ・蒙古襲来が鎌倉幕府に与えた影響について考えさせる。 ・鎌倉時代の文化と仏教の特徴をとらえさせる。 ・執権政治と悪党の出現の意味を考えさせる。
			2. 武士団の成立	
			3. 院政と保元・平治の乱	
			4. 平氏の繁栄と治承・寿永の乱	
			5. 鎌倉幕府の成立過程	
			6. 承久の乱と執権政治	
			7. 地頭の荘園支配	
			8. 農工業の発達と流通	
			9. 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退	
			10. 鎌倉時代の仏教と文化	
			11. 北条氏の専制と悪党	

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
1学期	7月	第4章 中世社会の展開	1. 建武の新政と南北朝の内乱	・鎌倉幕府滅亡後、南北朝の内乱が長い間続くのはなぜか考えさせる。 ・室町幕府の性格と対外関係の特徴を理解させる。 ・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる。 ・室町時代の流通経済の発達過程を理解させる。 ・惣村が形成されていく意義と特徴をとらえさせる。 ・惣村を基盤とする一揆がなぜおこってきたのかを考えさせる。 ・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。 ・東山文化と地域文化の発展についてその特徴を理解させる。
			2. 室町幕府の確立	
			3. 室町幕府の東アジアと日本	
			4. 南北朝時代の文化と北山文化	
			5. 室町時代の流通経済の発達	
			6. 惣村と一揆	
2学期	9月		7. 室町時代の衰退と戦国動乱	
			8. 戦国時代の政治と社会	
			9. 東山文化と地方への波及	
		第5章 統一政権の成立	1. 大航海時代と日本	・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。 ・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を考えさせる。
			2. 織田信長の天下布武	
			3. 豊臣秀吉の全国統一	
			4. 豊臣政権の対外政策	
			5. 桃山文化	
			6. 江戸幕府の成立	
			7. 幕府と藩の支配体制	
	10月		8. 鎖国と四つの口	
			9. 身分制と村・町の支配	
		第6章 幕藩体制の展開	1. 幕府政治の転換	・幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさえる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。 ・徳川吉宗と田沼意次の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる。 ・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのかを考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる
			2. 産業の発達	
			3. 交通と都市の発達	
			4. 町人文化と学問の発達	
			5. 享保の改革と田沼の政治	
			6. 商品経済の発達と社会の変化	
			7. 蘭学と国学の普及	
			8. 寛政の改革と異国船の接近	
			9. 大塩の乱と天保の改革	
			10. 民衆文化の発展	
	11月	第7章 大日本帝国の形成	1. 開国と社会の変動	・ペリー来航がもたらした日本社会への影響を考えさせる。 ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・倒幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動はどうひろまったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。 ・大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。
			2. 尊王攘夷から倒幕へ	
			3. 明治維新と新政府の成立	
			4. 文明開化と復古	
			5. 地租改正と富国強兵	
			6. アジア外交と国境問題	
			7. 民権思想と国会開設運動	
			8. 私擬憲法と政党の結成	
			9. 松方財政と民権運動の激化	
			10. 大日本帝国憲法の制定	

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
2学期	12月	第8章 大日本帝国の展開	1. 条約改正と立憲政友会の結成	・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。 ・大正デモクラシーの特徴を理解させる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められたのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の高揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。
			2. 朝鮮政策と日清戦争	
			3. 日清戦争後の東アジア	
			4. 日露戦争と朝鮮	
			5. 朝鮮の植民地化	
			6. 産業革命と社会問題	
			7. 欧米文化と伝統文化の交錯	
			8. 大正デモクラシー	
			10. 第1次世界大戦後の世界	
			11. 日本資本主義の成長	
			12. 米騒動と社会運動	
3学期			13. 普通選挙法と治安維持法	
			14. 大正デモクラシーと文化	
	1月	第9章 15年戦争と日本・アジア	1. 侵略戦争への序幕	・日本軍は中国で何をしたか考えさせる。 ・国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。 ・戦争は文化をどう圧迫したかをとらえさせる。 ・「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。 ・15年戦争は何をもたらしたのか考えさせる。 ・敗戦の意味を考えさせる。
			2. 満州事変と「満州国」	
			3. 日中戦争	
			4. 第2次世界大戦と日本	
			5. アジア太平洋戦争	
			6. 戦時下の文化と国民生活	
			7. 日本の敗戦	
	2月	第10章 戦後改革と高度経済成長	1. 戦後世界と日本	・占領政治の特徴を理解させる。 ・新憲法を生みだした力は何か考えさせる。 ・民主化政策の転換の背景を考えさせる。 ・朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。 ・新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。 ・高度経済成長の光と影を理解させる。 ・沖縄から戦後を考えてみる。 ・戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。
			2. 日本国憲法と民主主義体制	
			3. 戦後改革の転換	
			4. 経済復興と再軍備	
			5. サンフランシスコ平和条約	
			6. 新日米安全保障条約	
			7. 高度経済成長と公害	
			8. ヴェトナム戦争と沖縄	
			9. 戦後の文化	
	3月	第11章 現代の世界と日本	1. 低成長への転換から経済大国へ	・高度成長がなぜ終わり、その後どうなったのか考えさせる。 ・経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 ・湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・バブル経済の特徴を考えさせる。 ・21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。 ・21世紀のアジアと日本の関係について考えさせる。
			2. 経済大国日本と国際経済	
			3. 湾岸戦争後の世界と日本	
			4. バブル崩壊と政界再編	
			5. 21世紀の日本社会	
			6. 21世紀の世界と日本	

評価の観点

章	評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1章 文化と国家の形成	日本の原始社会に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。	地域に残る遺跡や博物館などを訪ねるなどして原始社会の文化の特色に関する諸資料を収集し、原始社会の様子を調べるための情報を適切に選択している。	原始社会がまだ貧しいがゆえに平等な社会構造であったことを理解し、その知識を身に付けている。農耕の開始によって権力者があらわれ、クニができあがってくることを理解し、その知識を身に付けている。
第2章 古代国家の確立	古代国家としての奈良や京都、奈良時代や平安時代の文化に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。	古代国家の確立に関する史料を読み、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代国家が天皇を中心に成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。古代国家と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。奈良時代は律令制の時代であったことを理解し、その知識を身に付けている。平安時代は律令制が変質し、荘園を中心とした社会になってきたことを理解し、その知識を身に付けている。
第3章 中世社会の成立	武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	武士の出現や武家政権の成立について、その文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。	中世社会の成立に関する諸資料を収集し、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。	武士が土地の所領関係でむすびついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、力を獲得していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりをもっていることを理解し、その知識を身に付けている。
第4章 中世社会の展開	中世社会が二つの勢力にわかれ争っていることや戦国大名の出現に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	南北朝の内乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について、出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。	室町時代の建築物や庭園から、その社会や文化の特徴を読み取ることができる。また全国各地の城跡から戦国時代の社会や文化の特徴に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている	鎌倉幕府が滅亡したあと、全国の武士や悪党が二つにわかれて戦ったことを理解し、その知識を身に付けている。室町幕府と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。守護大名の時代から下克上を経て戦国大名が出現してくることを理解し、その知識を身に付けている。村の自治がしだいに成長してくることを理解し、その知識を身に付けている。
第5章 統一政権の成立	統一政権の成立にいたる過程、「鎖国」やキリスト教の日本への影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や、徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察し、適切に表現している。	織豊政権や徳川時代に関する史料や絵巻などの諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。五街道などを調べることにより、この時期に江戸と諸地域の関係がどう形成されていくかを読み取ったり図表などにまとめたりしている。	天下統一の過程が、ヨーロッパからの影響のもとでおこっていることを理解し、その知識を身に付けている。封建社会が百姓から年貢をとることによって成り立っていくことを理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の特徴を理解し、その知識を身に付けている。江戸幕府の貿易の特徴と禁教令の関係を理解し、その知識を身に付けている。
第6章 幕藩体制の展開	幕藩体制がしだいに動揺していく過程や蘭学・国学の普及、民衆文化の発展などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	幕府の改革についてそれぞれの特色をおさえつつ、幕藩体制の矛盾が表面化していく過程について考察し、適切に表現している。	地域に残るお墓、義民伝説や地域にあった寺子屋など江戸時代の民衆の生活に関する諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	幕藩制度が安定するときの特徴を理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の矛盾の出現の理由を理解し、その知識を身に付けている。百姓一揆・打ちこわしの背景を理解し、その知識を身に付けている。幕府の改革の失敗の理由を理解し、その知識を身に付けている。異国船の接近が幕府にもたらした影響を理解し、その知識を身に付けている。
第7章 大日本帝国の形成	開国から幕府の滅亡にいたる過程、新政府の政策に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。欧米の文化・思想が日本の文化に与えた影響、日本を取り巻く国際環境の変化などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策とその結果について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	開国が与えた影響を理解し、その知識を身に付けている。討幕運動の特徴を理解し、その知識を身に付けている。新政府の政策の特徴を理解し、その知識を身に付けている。自由民権運動の内容を理解し、その知識を身に付けている。

章	評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第8章 大日本帝国の展開	日清、日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、大正デモクラシーや民衆の台頭、第1次世界大戦とその影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露戦争と第1次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。	風刺漫画や雑誌・新聞などの諸資料を収集し、当時の民衆の姿を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴を理解し、その知識を身に付けている。植民地支配の特徴と植民地からの抵抗について理解し、その知識を身に付けている。大正デモクラシーの特徴を理解し、その知識を身に付けている。
第9章 15年戦争と日本・アジア	第2次世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。	地域に残る戦争遺跡を訪ねるなどして第2次世界大戦に関する諸資料を収集し、戦争の様子を調べるための情報を適切に選択している。	戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったかを理解し、その知識を身に付けている。戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。
第10章 戦後改革と高度経済成長	戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことの問題点について考察し、適切に表現している。	新聞や雑誌・漫画から戦前と戦後の変化を読み取ることができる。様々な史料から戦後日本を世界史のなかに位置付けて考察し、その特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その知識を身に付けている。戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。
第11章 現代の世界と日本	経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	年表や新聞、雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。	戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。21世紀の展望をもつ。

平成３０年度　地理Ａ　年間指導計画

科目	地理Ａ	単位数	２単位	対象学年	２，３年・園芸科

使用教科書：『高等学校　新地理Ａ』帝国書院　・副教材：『高等学校　新地理Ａノート』帝国書院

学期	月	指導内容	配当時間	進度
1	4	第１部　世界の諸地域の姿と地球的課題 第１章　地球儀や地図からとらえる現代世界 １節　地球上の位置と国家 ２節　グローバル化が進む世界	6	
	5	第２章　人間生活を取り巻く環境 １節　人々の生活と地形 ２節　人々の生活と気候 ３節　人々の生活と産業・文化	8	
	6	第３章　世界の諸地域の生活・文化 １節　中国の生活・文化 ２節　韓国の生活・文化 ３節　東南アジアの生活・文化	8	
	7	４節　東アジアの生活・文化 ５節　中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	4	
2	9	６節　サハラ以南のアフリカの生活・文化 ７節　ヨーロッパの生活・文化 ８節　ロシアの生活・文化	7	
	１０	９節　アングロアメリカの生活・文化 １０節　ラテンアメリカの生活・文化 １１節　オーストラリアの生活・文化	8	
	１１	第４章　地球的課題と私たち １節　複雑にからみ合う地球的課題２節　世界の環境問題 ３節　世界の資源・エネルギー問題 ４節　世界の人口問題	8	
	１２	５節　世界の食料問題 ６節　世界の都市・居住問題	4	